

令和5年 知立市議会 3月定例会

市民福祉委員会報告

令和5年5月6日（土）

〈 委員会構成 〉

委員長：那須 幸子、副委員長：神谷 定雄

委員：嶋田 義雄、岩城 道雄、杉浦 弘一、中島 孝之、小林 昭式

令和5年 知立市議会 3月定例会で審議した議案

▼ 市民福祉委員会 所管分（9件）

番号	議案等	自由討議	討論	採決結果
議案 第 1号	第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の変更について	あり	あり (反対)	可決 すべきもの
議案 第 4号	知立市特別保育等の実施に関する条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第 5号	知立市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第 6号	知立市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第 7号	知立市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第 8号	知立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第 9号	知立市児童発達支援センター条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの
議案 第10号	知立市国民保険税条例の一部を改正する条例	なし	あり (反対)	可決 すべきもの
議案 第11号	知立市国民保険条例の一部を改正する条例	なし	なし	可決 すべきもの

令和5年 知立市議会 3月定例会で審議した議案

▼ 予算・決算委員会 市民福祉分科会 所管分（9件）

番号	議案等	自由討議	討論	採決結果
議案 第13号	令和4年度知立市一般会計補正予算 (第12号)	なし		分科会では、 討論・採決は 行いません。
議案 第14号	令和4年度知立市国民保険特別会計補正予算 (第3号)	なし		
議案 第15号	令和4年度知立市介護保険特別会計補正予算 (第2号)	なし		
議案 第16号	令和4年度知立市後期高齢者医療特別会計補 補予算(第3号)	なし		
議案 第19号	令和5年度知立市一般会計予算	なし		
議案 第20号	令和5年度知立市国民健康保険特別会計予算	なし		
議案 第22号	令和5年度知立市介護保険特別会計予算	なし		
議案 第23号	令和5年度知立市後期高齢者特別会計予算	なし		
議案 第26号	令和5年度知立市一般会計補正予算 (第1号)	なし		

今回の報告案件

議案	報告案件
第 1号	<u>1.第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の変更</u>
第13号	「令和4年度知立市一般会計補正予算」(12号) <u>2.電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業</u>
第19号	「令和5年度知立市一般会計予算」 <u>3.家計改善支援事業</u> <u>4.カーボンニュートラル推進事業者支援事業</u> <u>5.大河ドラマ関連事業</u>

▼その他、下記の事業等について、質疑答弁がありました。

国民健康保険税条例、生活困窮者自立支援事業、母子保健衛生対策補助金、がん検診推進事業、ごみ収集事業、介護保険特別会計補正予算、知立駅周辺エリアプラットフォーム事業、救急医療対策事業、予防接種事業、浄苑施設管理運営事業、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算

1.第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の変更

(1) 計画の目的

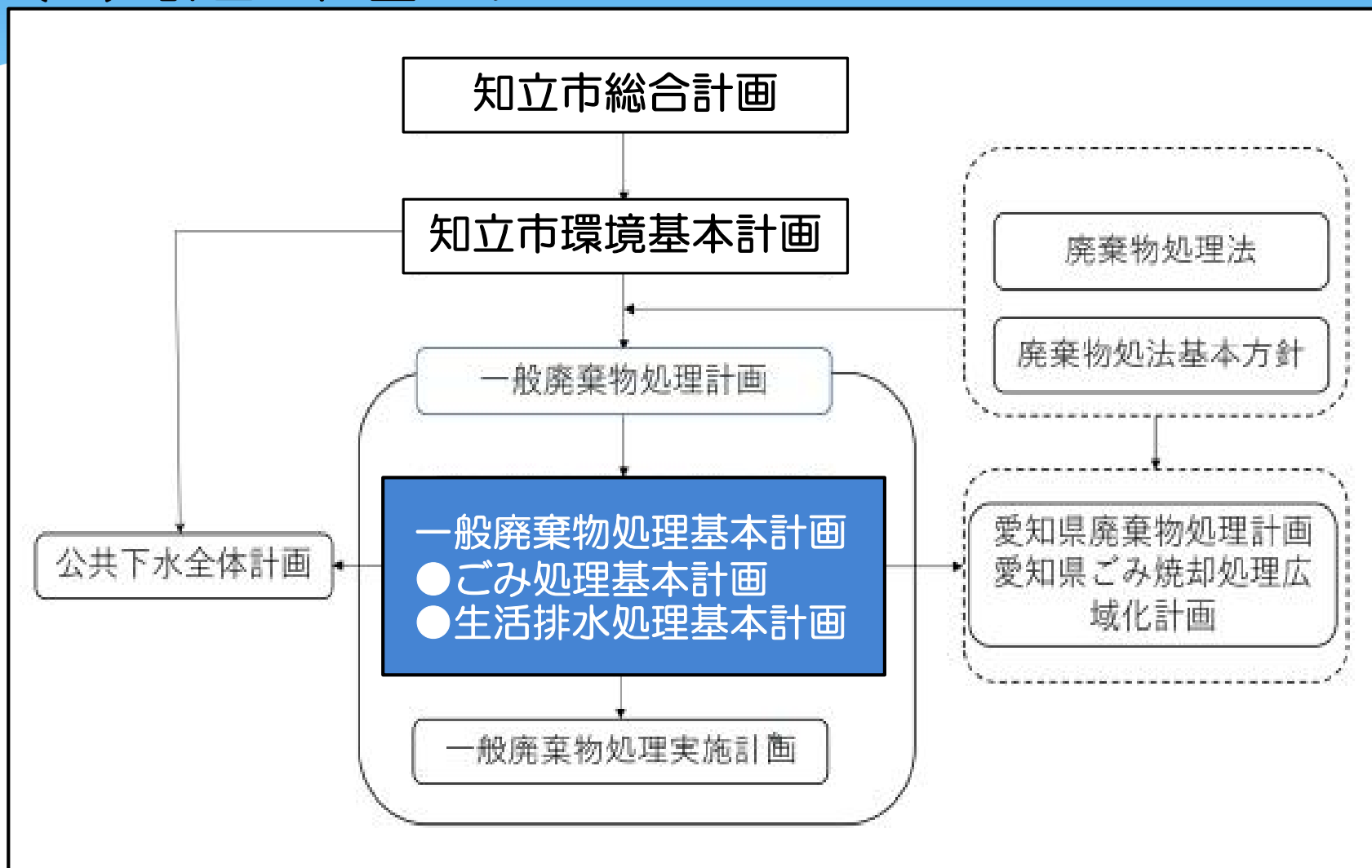
知立市においては、平成28年度(2016年度)に策定した「第3次知立市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの減量や資源化の推進等、資源循環の取り組みを推進してきましたが、策定から5年が経過し、さらにごみの収集方法や処理方法を変更したこと、国の計画をはじめ社会の状況も変化していることなどから、さらなるごみの減量化・資源化、適正な処理などを目指していくものです。

(2) 計画の期間

平成29年度(2017年度)を初年度とし、令和8年度(2026年度)を目標年度としています。なお、毎年計画の進捗状況を調査・評価するとともに、概ね5年毎もしくは計画の前提となる諸条件に大きな変動があった場合に計画自体の見直しを行います。

1.第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の変更

(3) 計画の位置づけ



1.第3次知立市一般廃棄物処理基本計画の変更

〈 着眼点 〉

- 計画の変更点は適正であるか？

委員の質問	当局の答弁
①知立市環境基本計画や県の計画に対して、計画期間の整合性がとれていないのでは？	①来年度に計画期間を見直す可能性があるため、現計画の期間での中間見直しとした。
②県の計画に比べて、低い削減目標であり、新しい施策が見受けられないのは？	②当計画は基本的な計画で、施策のすべてが網羅されているものではなく、今後更なる取り組みを考え改善していく。
③ごみ減量における課題に、家庭系・事業系ごみともに、ごみの発生や排出の更なる抑制が必要とあるが、その方法は？	③可燃ごみの組成率が高い紙類や剪定枝等を減らす取り組みが必要。古紙・古布の収集事業の継続や、剪定枝の再利用を検討する。

2.電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

(1) 事業の内容

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対する給付金が支給されます。

(2) 支給額

50,000円/世帯

(3) 対象世帯

次のいずれかに該当する世帯

- ①世帯員全員が令和4年度住民税均等割が課税されていない世帯
- ②令和4年1月から12月の収入が減少し、住民税非課税相当となった世帯

2.電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

< 着眼点 >

- ・給付金対象世帯に確実に給付されているか？

委員の質問	当局の答弁
<p>①電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業が、7,432千円減額されている理由は？</p>	<p>①当初 7,700 世帯に支給する予定であったが、現在のところ、4,557 世帯に対し、支給済みとなっている。</p>

3. 家計改善支援事業

(1) 事業の内容

相談窓口を設置し、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じて、家計の視点から必要な情報提供や助言・指導等を行っています。（令和4年度～）

(2) 支援の具体例

- ①家計管理に対する支援（家計表等の作成支援、出納管理等の支援）
- ②滞納（家賃、税金、公共料金等）の解消や各種給付金制度の利用に向けた支援
- ③債務整理に関する支援（多重債務者相談窓口との連携）
- ④貸付のあっせん等

3. 家計改善支援事業

〈 着眼点 〉

- 生活困窮者への支援は適正であるか？

委員の質問	当局の答弁
①家計改善支援事業の令和4年度の実績は？	① 12月末現在で7人に利用いただいていたが、うち1人は、ご本人が辞退され、現在は6人という状況である。
②予想していたより、利用者が少ないと感じているが、理由は？	②実施には契約が必要で、契約を無理強いすることはできないため。
③812万円余は社会福祉協議会への委託とのことだが、相談窓口は市役所と社会福祉協議会にあるということか？	③生活困窮の事業と一体的に実施している。困窮の窓口をきっかけとして、支出が収入を上回っているような方に家計改善を提案しており、困窮相談は社会福祉協議会に窓口を一本化している。

4.カーボンニュートラル推進事業者支援事業

(1) 事業の内容

市内の中小事業者等が診断する省エネルギー診断料、省エネルギー及び再生エネルギー設備の導入費用、次世代自動車の購入等費用の一部が補助されます。

(2) 補助の具体例

①省エネルギー診断料

- ・補助対象経費の1 / 2、上限 10 万円

②省エネルギー設備の導入・再生可能エネルギー設備の導入

- ・補助対象経費の1 / 3、上限 50 万円

③次世代自動車の購入等（V2Hの設備が条件）

- ・燃料電池車：20 万円／台
- ・電気自動車又はPHV車：5 万円／台

4.カーボンニュートラル推進事業者支援事業

〈 着眼点 〉

- CN推進事業者への支援内容は適正であるか？

委員の質問

- ①診断料省エネルギー及び再生可能エネルギー設備の導入費、次世代自動車の購入等費用が補助対象事業となっているが、それぞれ何件程度見込んでいるか。また、予算を上回る申請があった場合は、補正予算で対応するのか？

当局の答弁

- ①省エネルギー診断料が上限10万円の5件分で50万円。省エネルギー及び再生可能エネルギー設備の導入費用が上限50万円の5件分で250万円。次世代自動車購入費等のFCVが2台分の40万円、電気自動車等が5台分の25万円。新規事業のため、予算の見込みが難しいが、早期に予算が不足する場合は、財政部局とも協議し検討する。

5. 大河ドラマ関連事業

(1) 事業の目的

令和5年大河ドラマの放送を契機に、徳川家康公ゆかりの各地で関連事業の実施により、観光誘客や地域で連携した周遊観光の促進を図る。

(2) 事業の内容

- ①「武将印」、「姫印」及び「武将帳」の制作・配布
 - ・徳川家康公にゆかりのある人物をモチーフした武将印等を作成し、観光交流センターなどで販売する。
- ②歴史講演会・シンポジウム
 - ・徳川家にゆかりのある永見家や知立神社などをテーマとした講演会と武将観光等について、講演会登壇者、知立市長などをパネリストとしたシンポジウムを開催する。

5. 大河ドラマ関連事業

〈 着眼点 〉

- 観光の促進が図れる事業内容であるか？

委員の質問	当局の答弁
①当初予算額900万円余の内容は？	<p>① 武将印・姫印の製作事業とシンポジウム実施事業の二つの事業を実施していく。予算の内訳としては、武将印・姫印の製作事業は、武将印・姫印を各1,500部、武将印帳を1,800部、ポスター・チラシの製作費と併せて27万円余を計上している。シンポジウム実施事業は、歴史講演会とシンポジウムの開催費用として627万円余を計上している。内訳はNHK委託料として企画製作費、出演協力費、画像製作費等が457万円程度、その他経費として、看板・パンフレット製作費、講師報償、交通費等が170万円程度。二つの事業費を合計した900万円余を予算額計上している。</p>



以上

ご清聴ありがとうございました。

市民福祉委員会